

## ソフトバンクに対する追加説明依頼事項

- 問1 「ドライカップの利用できないところでは、サービスを提供しない」とのことであるが、ベストエフォート回線による0AB～J IP 電話（以下「提案方式」）のサービス提供後に当該地域でドライカップが利用できなくなった場合にはどうするのか。
- 問2 第1回の会合では、Yahoo! BB 光 with フレッツについて、IP 電話の品質に関してのクレームはないとの説明であった。一方で、第3回の会合では、現状でも VDSL 方式のマンション等の利用者から、急激に状態が悪くなった、電話がブツブツ切れるというような申告があるとの説明があったが、VDSL における 050 IP 電話の品質に関するクレームの状況について具体的に説明をお願いしたい。
- 問3 提案方式のサービスのユーザが電話とパソコンを同時に使用している場合は、ソフトバンクの TA から電話の音声パケットをパソコンのデータパケットより優先的に送出しても、NGN の網内では NTT 東西以外の他事業者の音声パケットとデータパケットは同列に扱われてしまうので、(OSU より上部の) 収容ルータの集線部では、音声パケットが優先されずに廃棄されるのではないか。
- 問4 提案方式において突発的な輻輳時に着信を確保するためには、全ての端末に関して定期的に品質監視し、予め NGN 網内の混雑を検知し、検知した場合は最適な迂回路の UNI を特定し、ソフトバンク網側のサーバやルータ等に経路情報を迅速に設定しておく必要があるが、突発的な輻輳に対してこれらの対応は間に合うのか。